

研究トピックス

山間地に適したエゴマ品種の選定

在来種の中から、本県山間地域に高い適応性を持つ品種を選定しました。黒皮で大粒の子実を8月中下旬に収穫できる短茎の極早生種で、台風や早霜などの気象災害を回避できます。また、早期は種と密植栽培を組み合わせれば名倉種の2倍近い収量が確保できます。

(山間農業研究所)



草丈は名倉種の半分

早期は種密植栽培

咲ききるバラを消費者に提供するために

バラの切花は、暑い時期には咲ききらずにしておいてしまうことがよくあります。この原因として、収穫時期と収穫後の取り扱いが関係していることがわかり、対策が明らかになりました。①高温時には、蕾が少し開いた状態で収穫する、②収穫後は清潔な水で水揚げを行う、③輸送時はできるだけ低温に保つ、ことで防ぐことができます。(園芸研究部)



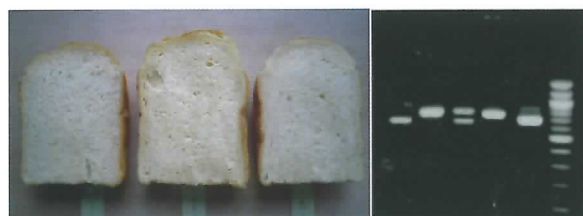
蕾が閉じた状態で収穫

少し開いた状態で収穫

収穫6日後の開花状況

遺伝子識別技術でパン用小麦の品種改良をスピードアップ！

本県では小麦生産が盛んですが、「地場産の小麦粉で作ったパンが欲しい」という声に応えられる品種はまだありません。そこで、パン作りに向き、梅雨前に収穫できる小麦品種の開発を始めました。パンのふくらみや食感に関するグルテン遺伝子をDNAマーカーで識別することで、早く確実にパン向きの系統を選ぶことができます。(作物研究部)



パンのふくらみと食感のよい育成系統(中央)

DNAマーカーによるグルテン遺伝子の識別

お知らせ

農業総合試験場の研究員が小中学校に出かけ、子供たちに最新の農業技術をわかりやすく伝える「農楽の先生派遣事業」が始まります。

19課題の多彩なテーマにより「夢ある農業、ホントの姿」を伝え、将来の担い手でもある子供たちが農業に対する理解を深められるよう支援していきます。

「トマト袋培地栽培システム(1頁)」と「ハウスイチジクの冬季収穫技術(2頁)」は「先端技術を活用した農林水産研究高度化事業」により得られた成果です。

編集・発行

愛知県農業総合試験場

〒480-1193愛知県愛知郡長久手町大字岩作字三ヶ峯1-1

TEL 0561-62-0085 内線323(企画普及部)

FAX 0561-63-0815

<http://www.pref.aichi.jp/nososi/>